

<http://www.topcon.co.jp>



株式会社 **トプコン**

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75番1号 TEL.(03)3966-3141(番号案内)

© 株式会社トプコン Printed in Japan 2009 08-20

2009
Fact Book


CONTENTS

組織図・経営体制 — 02

業績推移 — 04

経営指標 — 06

地域別売上高 — 12

製品一覧 — 14

トプコンの歩み — 16



会社概要

商 号：株式会社トプコン
(TOPCON CORPORATION)

本 社：〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75番1号
TEL.03-3966-3141(番号案内)

代 表 者：取締役社長 横倉 隆

設 立：1932年(昭和7年)9月1日

資 本 金：10,297百万円(2009年3月末現在)

売 上 高：連結112,666百万円 単独42,333百万円
(2009年3月期)

発行済株式総数：92,688,342株(2009年3月末現在)

資 産 総 額：119,702百万円(2009年3月末現在)

上 場 証 券 取 引 所：東京証券取引所市場第一部

トプコングループ：国内 16社
海外 51社(2009年3月末現在)

社 員 数：連結 4,964名
単独 1,187名(2009年3月末現在)

国際規格認証取得：ISO9001 [全ビジネスユニット]
ISO13485 [アイケアビジネスユニット]
ISO14001 [本社工場]

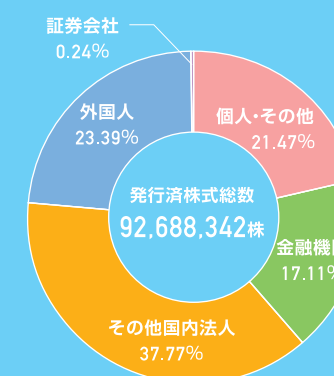
事 業 内 容：■ポジショニングビジネス
測量・土木分野製品／土木・建設分野製品／計測・
GIS分野製品／精密農業・移動体制御分野製品
■アイケアビジネス
眼科検査機器／眼科治療機器／眼科IT
ソリューション／眼鏡店向機器
■ファインテックビジネス
半導体関連装置／FPD・太陽電池関連装置／
光学製品／コーティング

大株主

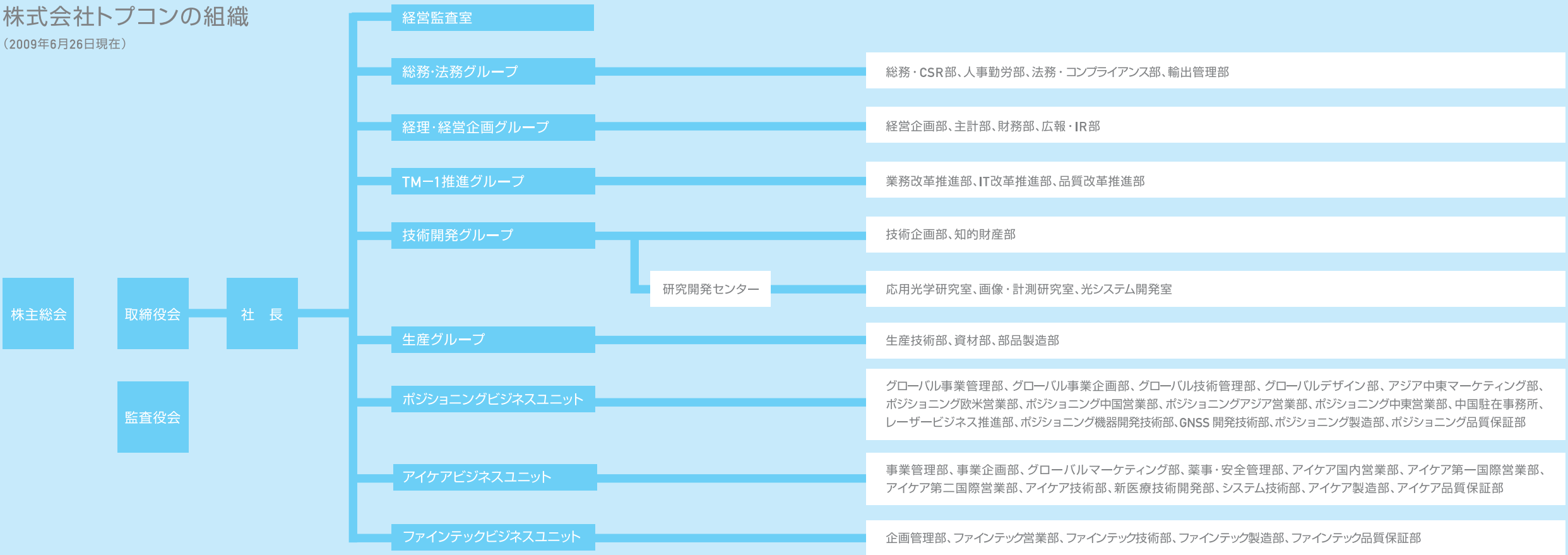
(2009年3月31日現在)		
株主名	所有株数(百株)	所有比率(%)
株式会社東芝	325,668	35.13
タイヨウ ファンド,エル,ビー,	141,963	15.31
第一生命保険相互会社	40,380	4.35
ザ バンク オブ ニューヨーク 132561	35,939	3.87
三井住友海上火災保険株式会社	24,036	2.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口46)	20,069	2.16
株式会社三井住友銀行	14,644	1.58
株式会社三菱東京UFJ銀行	14,007	1.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,437	1.34
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	11,670	1.25

所有者別株式分布状況(持株比率)

(2009年3月31日現在)



株式会社トプコンの組織
(2009年6月26日現在)



取締役社長
横倉 隆



社長補佐
大友文夫



取締役兼常務執行役員
内田憲男



取締役兼常務執行役員
福澤 弘



取締役兼執行役員
宮脇裕正



取締役兼執行役員
小川隆之



監査役
関 淳一



監査役
布川和夫



監査役
鈴木誠二郎



監査役
東 実



執行役員
庄司和徳



執行役員
小泉 浩



執行役員
岩崎慎治



執行役員
平野 聡



執行役員
高橋 潔



執行役員
Raymond O' Connor



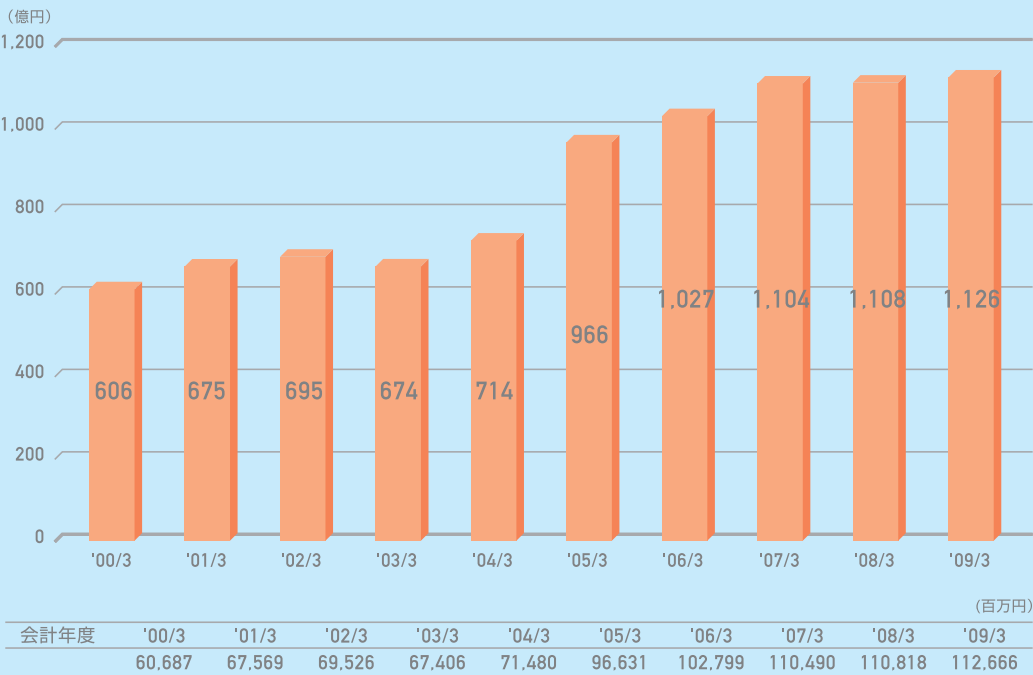
執行役員
市丸修次



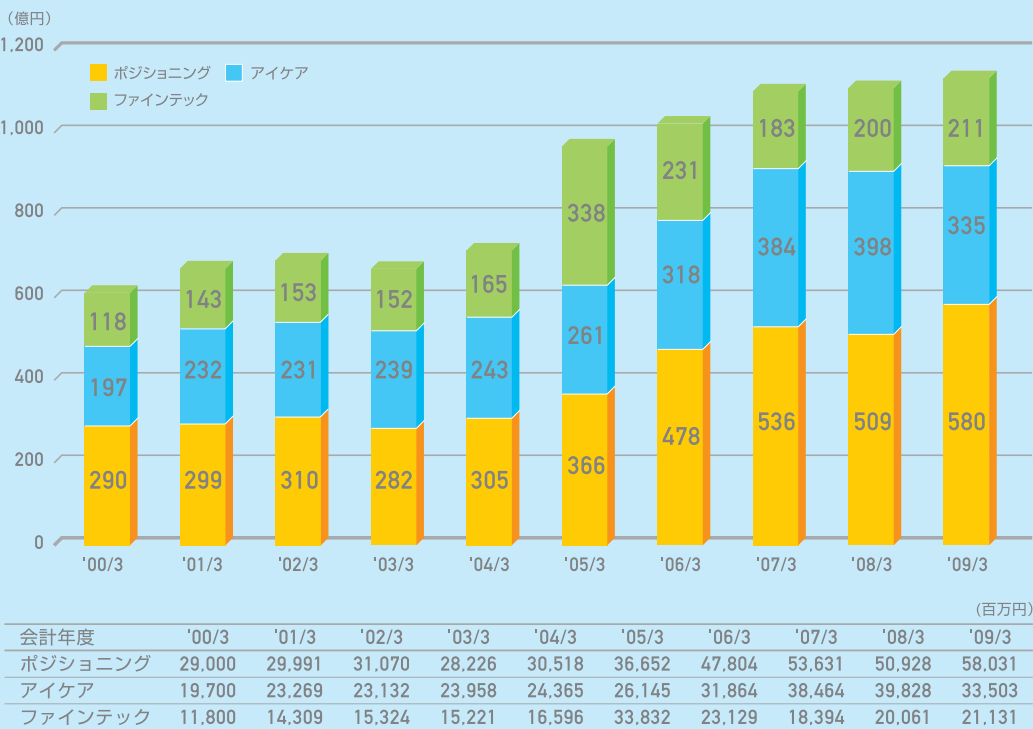
執行役員
丸山賢一郎

業績推移

売上高

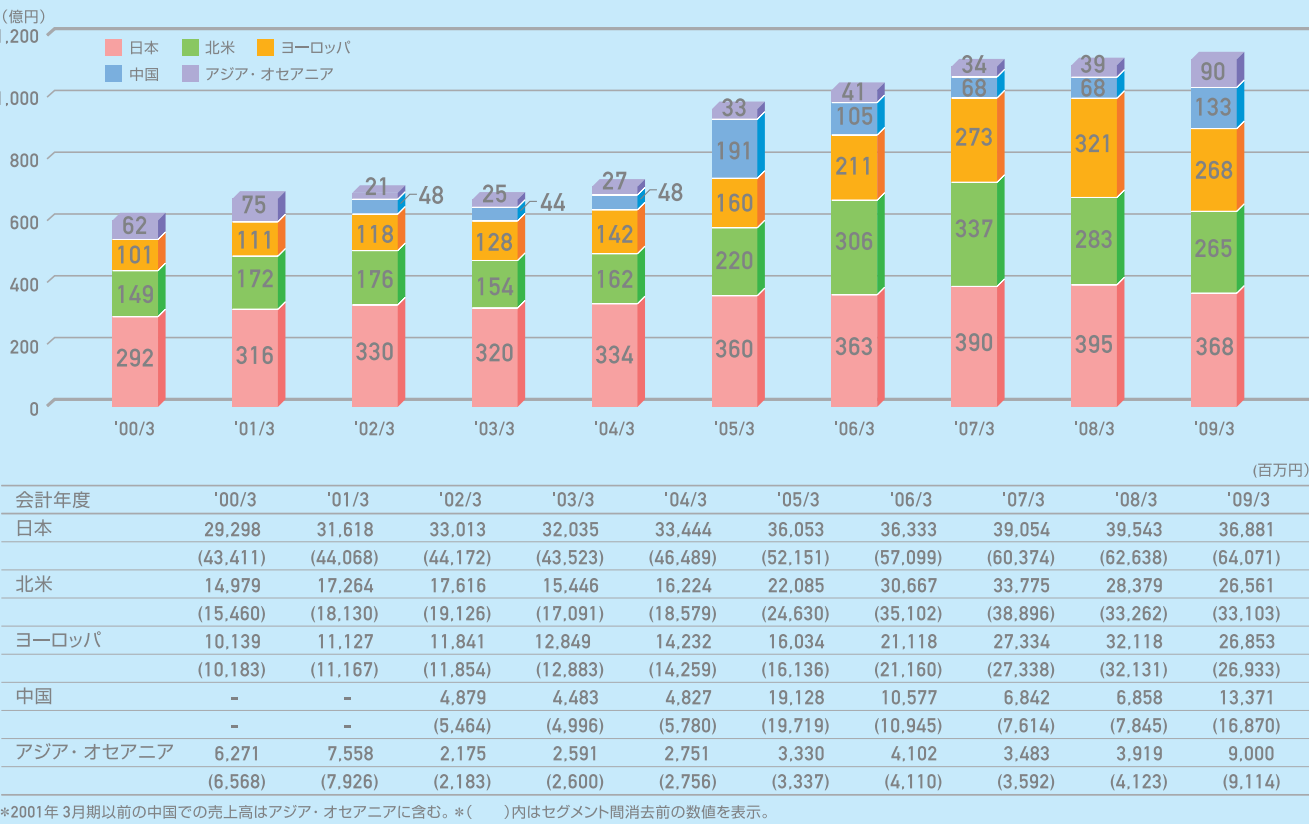


売上高 (事業別)

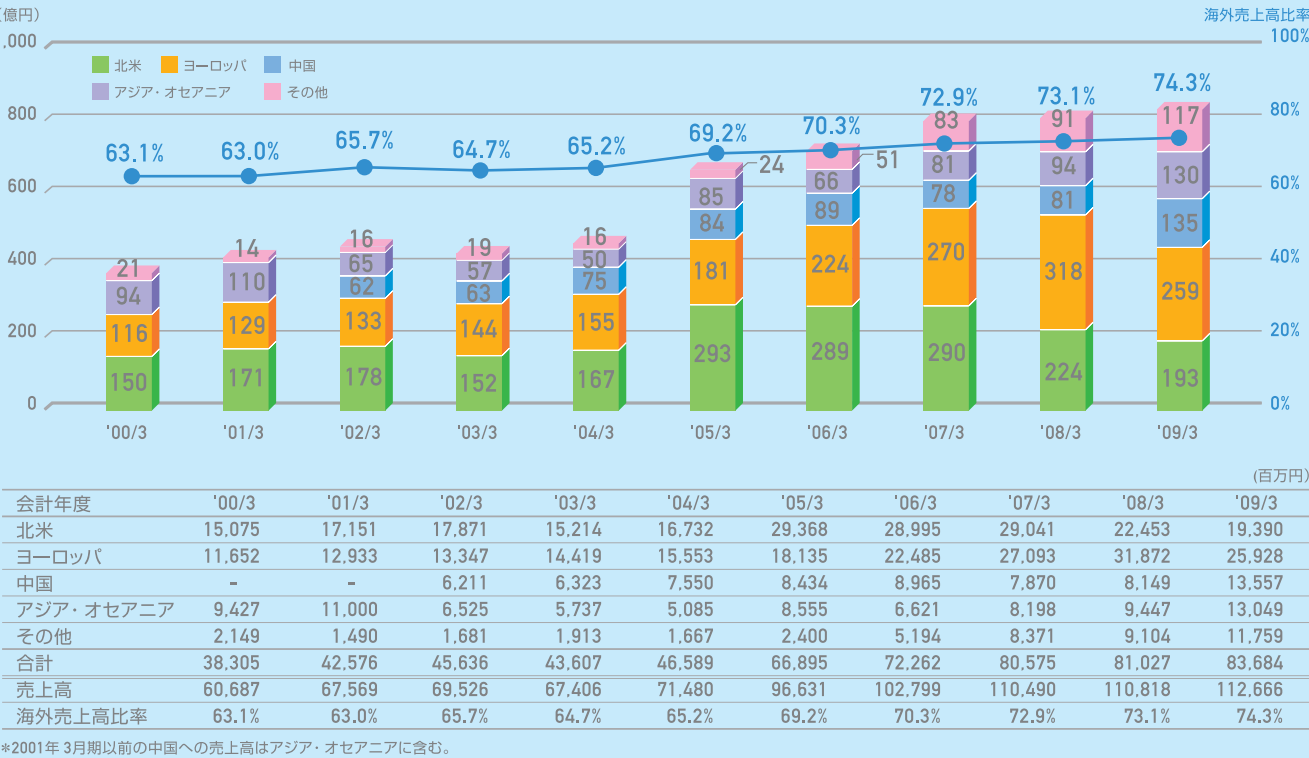


*2000年3月期以前は事業別での数値把握がなかったため公表値はなく、上位3桁の有効数字で表記し概算数値とした。

売上高(所在地別)

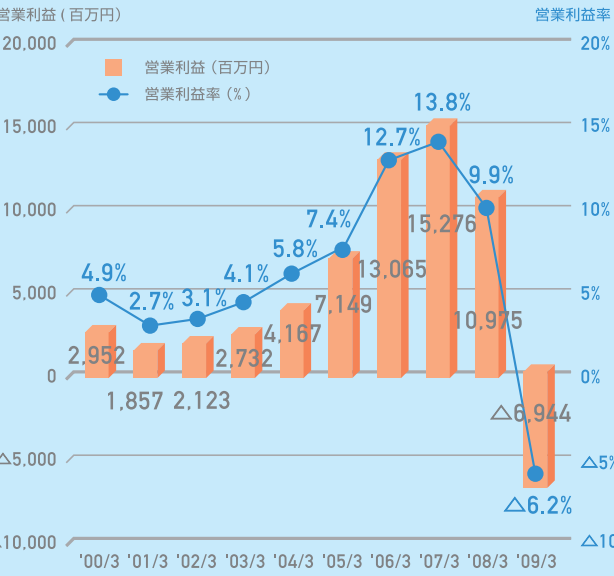


売上高(海外売上高)



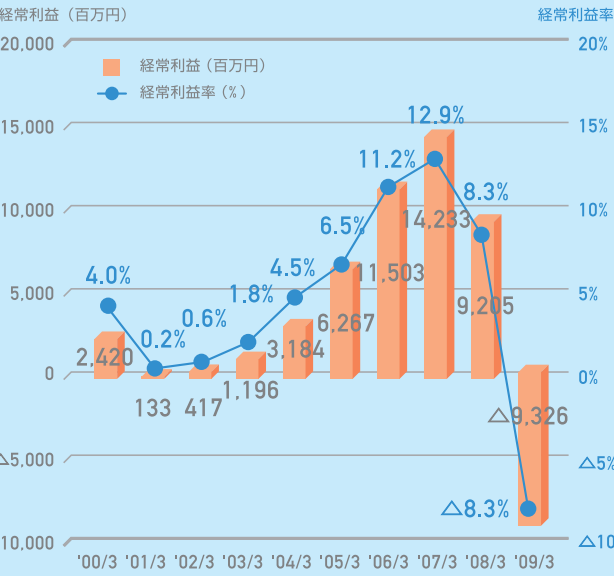
成長性の指標

営業利益・営業利益率



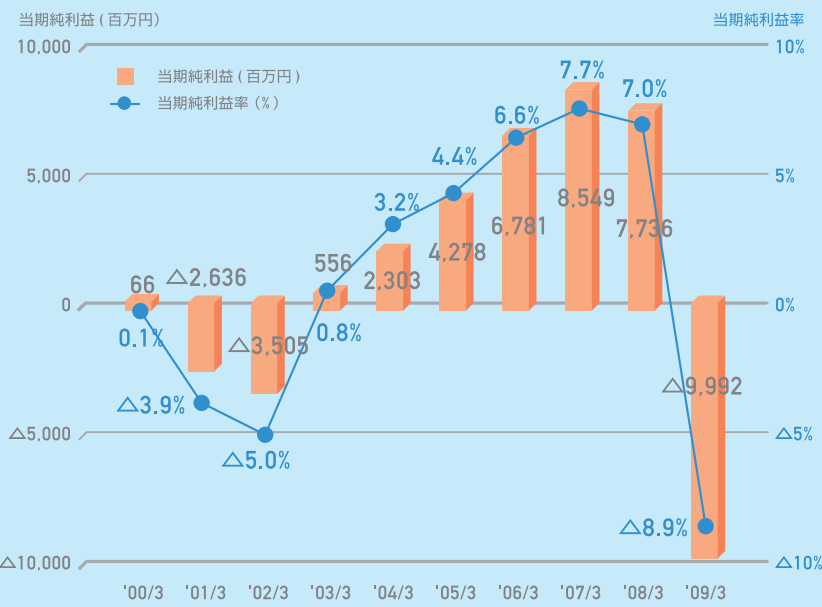
会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高（百万円）	60,687	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
営業利益（百万円）	2,952	1,857	2,123	2,732	4,167	7,149	13,065	15,276	10,975	△ 6,944
営業利益率（%）	4.9%	2.7%	3.1%	4.1%	5.8%	7.4%	12.7%	13.8%	9.9%	△ 6.2%
経常利益（百万円）	2,420	133	417	1,196	3,184	6,267	11,503	14,233	9,205	△ 9,326
経常利益率（%）	4.0%	0.2%	0.6%	1.8%	4.5%	6.5%	11.2%	12.9%	8.3%	△ 8.3%

経常利益・経常利益率



会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高（百万円）	60,687	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
営業利益（百万円）	2,952	1,857	2,123	2,732	4,167	7,149	13,065	15,276	10,975	△ 6,944
営業利益率（%）	4.9%	2.7%	3.1%	4.1%	5.8%	7.4%	12.7%	13.8%	9.9%	△ 6.2%
経常利益（百万円）	2,420	133	417	1,196	3,184	6,267	11,503	14,233	9,205	△ 9,326
経常利益率（%）	4.0%	0.2%	0.6%	1.8%	4.5%	6.5%	11.2%	12.9%	8.3%	△ 8.3%

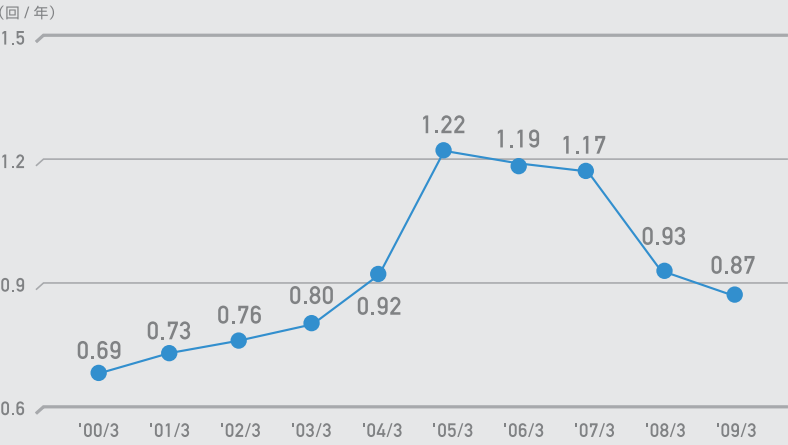
当期純利益・当期純利益率



会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高（百万円）	60,687	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
当期純利益（百万円）	66	△ 2,636	△ 3,505	556	2,303	4,278	6,781	8,549	7,736	△ 9,992
当期純利益率（%）	0.1%	△ 3.9%	△ 5.0%	0.8%	3.2%	4.4%	6.6%	7.7%	7.0%	△ 8.9%

効率性の指標

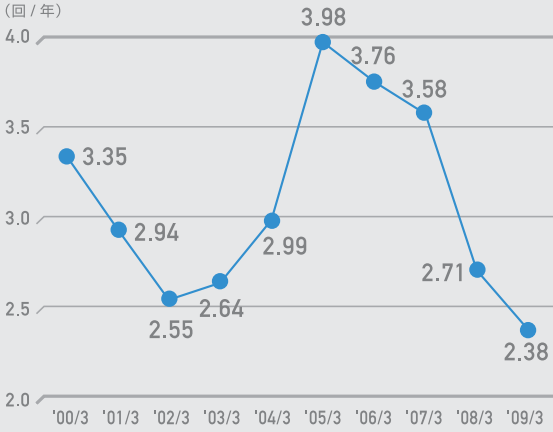
総資産回転率



会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高（百万円）	60,687	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
総資産（百万円）	88,955	95,149	87,444	80,258	74,704	83,758	89,379	99,859	139,362	119,702
期中平均総資産（百万円）	87,440	92,052	91,297	83,851	77,481	79,231	86,569	94,619	119,610	129,532
総資産回転率（回/年）	0.69	0.73	0.76	0.80	0.92	1.22	1.19	1.17	0.93	0.87

*総資産回転率=売上高÷期中平均総資産

固定資産回転率

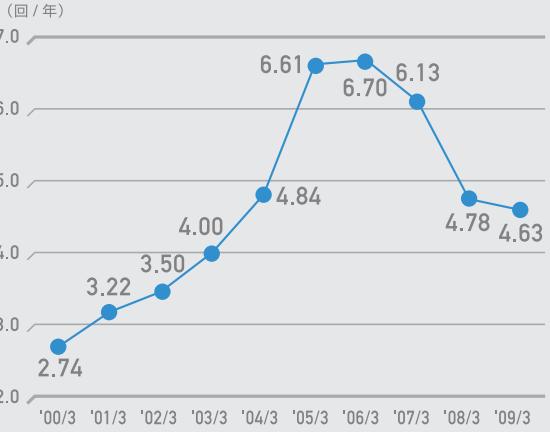


会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高（百万円）	60,687	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
固定資産（百万円）	18,585	27,391	27,234	23,857	23,965	24,600	30,071	31,648	50,198	44,572
期中平均固定資産（百万円）	18,121	22,988	27,312	25,545	23,911	24,282	27,335	30,859	40,923	47,385
固定資産回転率（回/年）	3.35	2.94	2.55	2.64	2.99	3.98	3.76	3.58	2.71	2.38
たな卸資産（百万円）	20,719	21,265	18,519	15,165	14,392	14,823	15,873	20,187	26,194	22,498
期中平均たな卸資産（百万円）	22,135	20,992	19,892	16,842	14,778	14,608	15,348	18,030	23,190	24,346
たな卸資産回転率（回/年）	2.74	3.22	3.50	4.00	4.84	6.61	6.70	6.13	4.78	4.63

*固定資産回転率=売上高÷期中平均固定資産

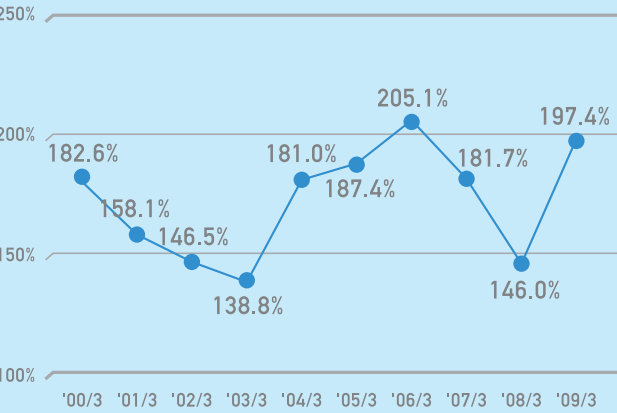
*たな卸資産回転率=売上高÷期中平均たな卸資産

たな卸資産回転率



安全性の指標

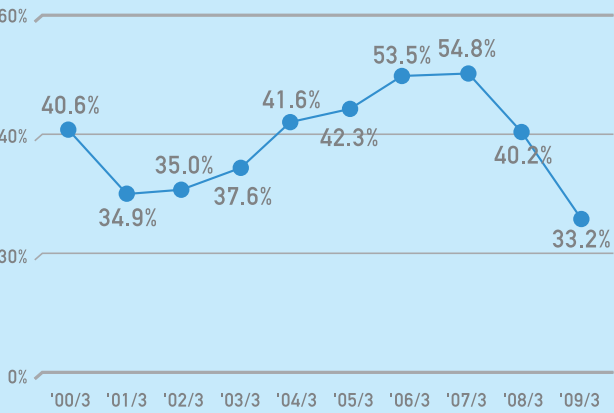
流動比率



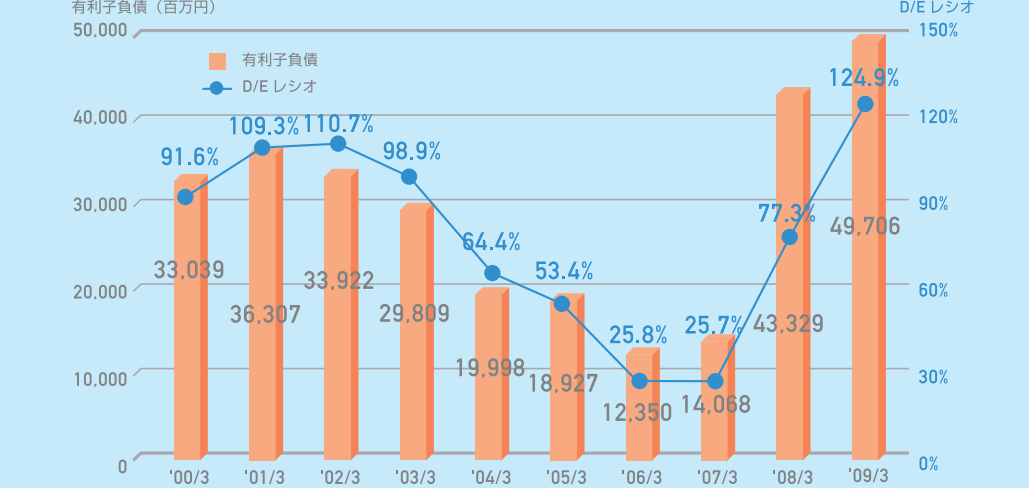
会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
流動資産（百万円）	69,100	67,758	60,209	56,401	50,739	59,158	59,308	68,210	89,164	75,130
流動負債（百万円）	37,846	42,868	41,107	40,632	28,034	31,575	28,918	37,542	61,083	38,063
流動比率（％）	182.6%	158.1%	146.5%	138.8%	181.0%	187.4%	205.1%	181.7%	146.0%	197.4%
自己資本（百万円）	36,073	33,216	30,642	30,137	31,077	35,413	47,780	54,689	56,082	39,801
総資産（百万円）	88,955	95,149	87,444	80,258	74,704	83,758	89,379	99,859	139,362	119,702
自己資本比率（％）	40.6%	34.9%	35.0%	37.6%	41.6%	42.3%	53.5%	54.8%	40.2%	33.2%

＊「自己資本比率」は、2005年までは「株主資本比率」を開示。 ＊流動比率＝流動資産÷流動負債×100(％) ＊自己資本比率＝自己資本÷総資産×100(％)

自己資本比率



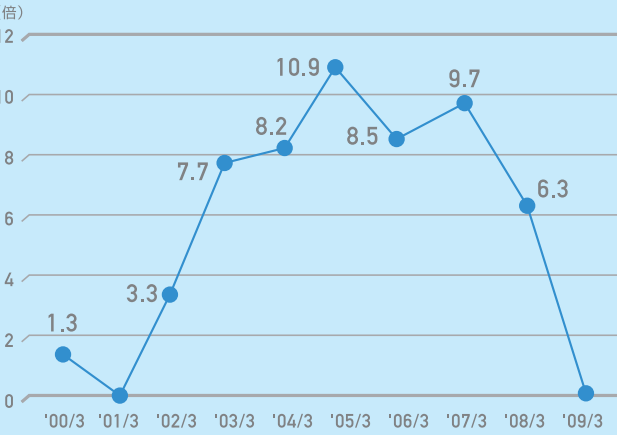
有利子負債・D/Eレシオ



会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
有利子負債（百万円）	33,039	36,307	33,922	29,809	19,998	18,927	12,350	14,068	43,329	49,706
自己資本（百万円）	36,073	33,216	30,642	30,137	31,077	35,413	47,780	54,689	56,082	39,801
D/E レシオ（％）	91.6%	109.3%	110.7%	98.9%	64.4%	53.4%	25.8%	25.7%	77.3%	124.9%

＊「自己資本」は、2005年までは「株主資本」を開示。＊D/Eレシオ＝有利子負債÷自己資本×100(％)

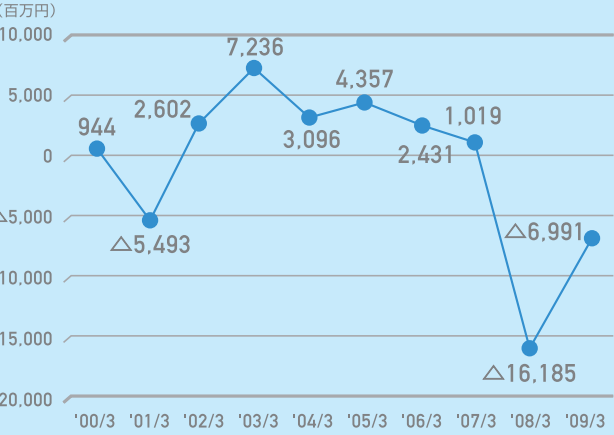
インタレスト・カバレッジ・レシオ



会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
営業活動による C/F（百万円）	1,761	△ 402	5,513	8,899	6,090	7,809	6,869	6,708	6,904	△ 1,267
利払い（百万円）	1,312	1,972	1,671	1,160	743	713	805	688	1,091	1,499
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	1.3	-	3.3	7.7	8.2	10.9	8.5	9.7	6.3	-
投資活動による C/F（百万円）	△ 816	△ 5,091	△ 2,911	△ 1,663	△ 2,994	△ 3,452	△ 4,437	△ 5,689	△ 23,090	△ 5,724
フリーキャッシュフロー（百万円）	944	△ 5,493	2,602	7,236	3,096	4,357	2,431	1,019	△ 16,185	△ 6,991

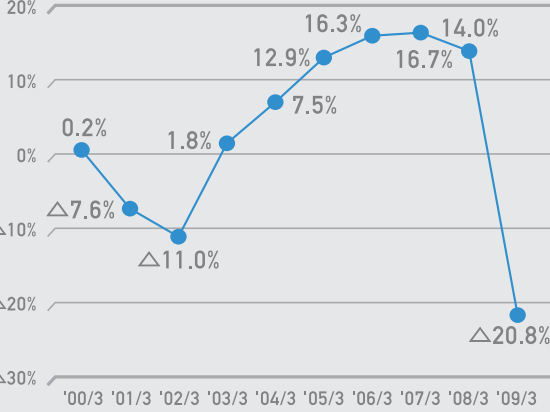
＊インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業活動による C/F÷利払い ＊フリーキャッシュフロー＝営業活動による C/F+投資活動による C/F

フリーキャッシュフロー



収益性の指標

自己資本利益率(ROE)

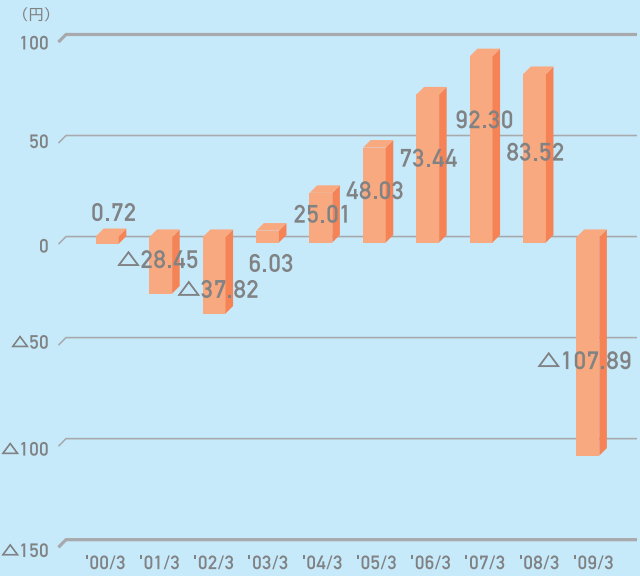


会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
当期純利益（百万円）	66	△ 2,636	△ 3,505	556	2,303	4,278	6,781	8,549	7,736	△ 9,992
自己資本（百万円）	36,073	33,216	30,642	30,137	31,077	35,413	47,780	54,689	56,082	39,801
期中平均自己資本（百万円）	34,899	34,644	31,929	30,389	30,607	33,245	41,597	51,235	55,385	47,941
ROE（％）	0.2%	△ 7.6%	△ 11.0%	1.8%	7.5%	12.9%	16.3%	16.7%	14.0%	△ 20.8%
総資産（百万円）	88,955	95,149	87,444	80,258	74,704	83,758	89,379	99,859	139,362	119,702
期中平均総資産（百万円）	87,440	92,052	91,297	83,851	77,481	79,231	86,569	94,619	119,610	129,532
ROA（％）	0.1%	△ 2.9%	△ 3.8%	0.7%	3.0%	5.4%	7.8%	9.0%	6.5%	△ 7.7%

＊「自己資本」は、2005年までは「株主資本」を開示。＊ROE＝当期純利益÷期中平均自己資本×100(％)＊ROA＝当期純利益÷期中平均総資産×100(％)

株価の指標

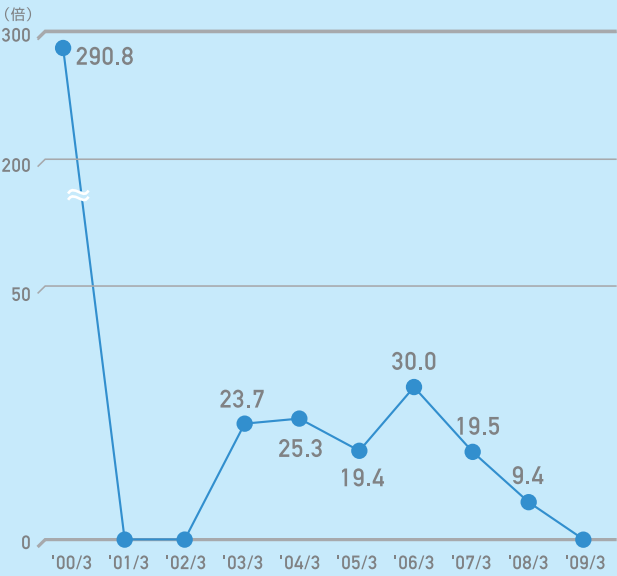
一株当たり当期純利益 (EPS)



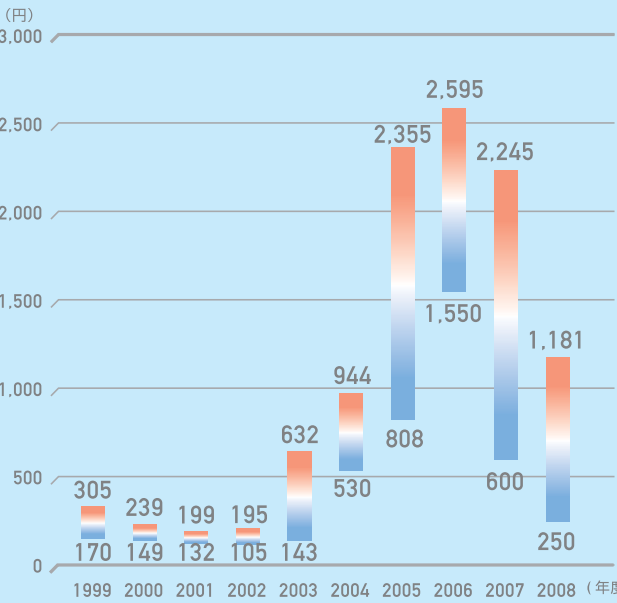
会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
株価（期末）	210	170	151	143	632	930	2,200	1,800	785	382
一株当たり当期純利益（円）	0.72	△ 28.45	△ 37.82	6.03	25.01	48.03	73.44	92.30	83.52	△ 107.89
株価収益率（倍）	290.8	—	—	23.7	25.3	19.4	30.0	19.5	9.4	—

*2006年 4月1日に普通株式1株につき2株の割合で株式分割。2005年以前の値は分割後の値に修正して表示。 *PER=株価(期末)÷EPS

株価収益率 (PER)



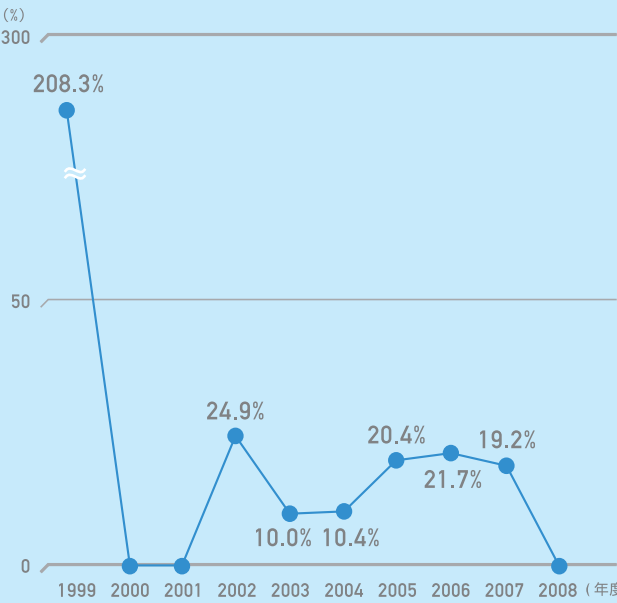
株価の推移



会計年度	1999 年度	2000 年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
最高(円)	305	239	199	195	632	944	2,355	2,595	2,245	1,181
最低(円)	170	149	132	105	143	530	808	1,550	600	250
連結配当性向(%)	208.3%	-	-	24.9%	10.0%	10.4%	20.4%	21.7%	19.2%	-

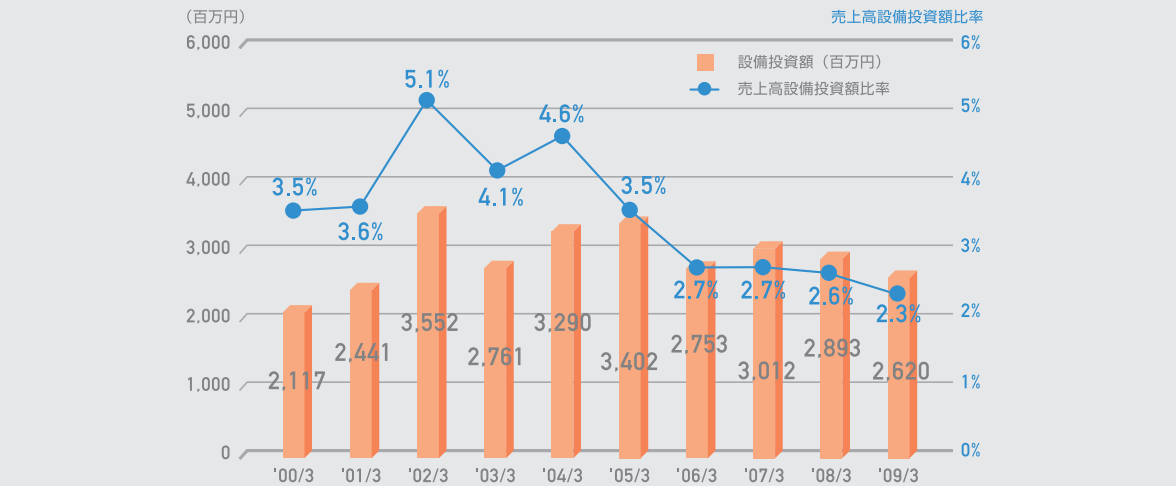
*2006年 4月1日に普通株式1株につき 2株の割合で株式分割。2005年以前の値は分割後の値に修正して表示。 *配当性向=1株当たり配当額 /1株当たり当期純利益 (EPS)×100(%)

連結配当性向



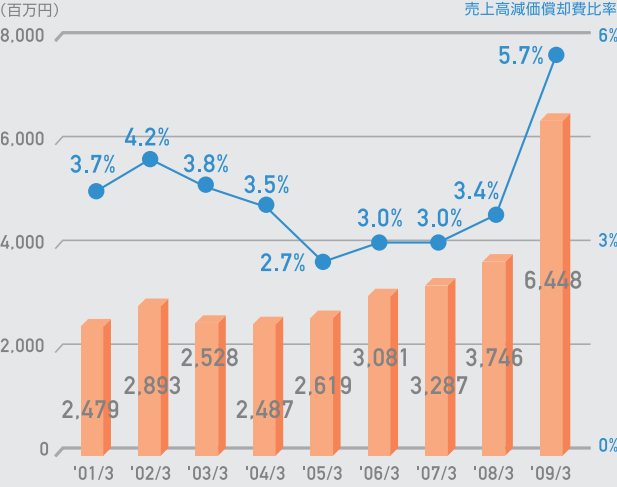
その他の指標

設備投資額



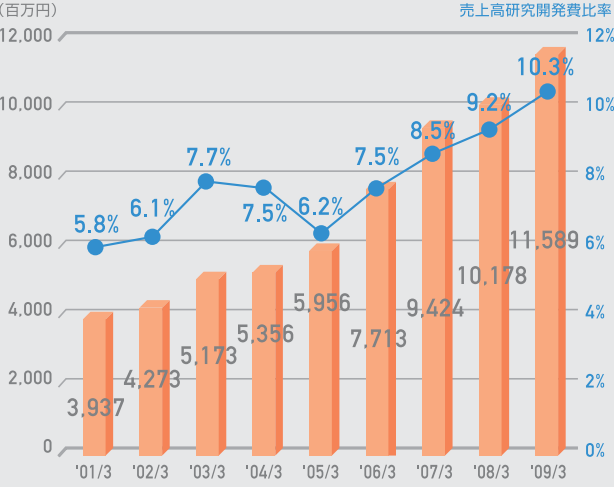
会計年度	'00/3	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高(百万円)	60,687	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
設備投資額(百万円)	2,117	2,441	3,552	2,761	3,290	3,402	2,753	3,012	2,893	2,620
売上高設備投資比率(%)	3.5%	3.6%	5.1%	4.1%	4.6%	3.5%	2.7%	2.7%	2.6%	2.3%

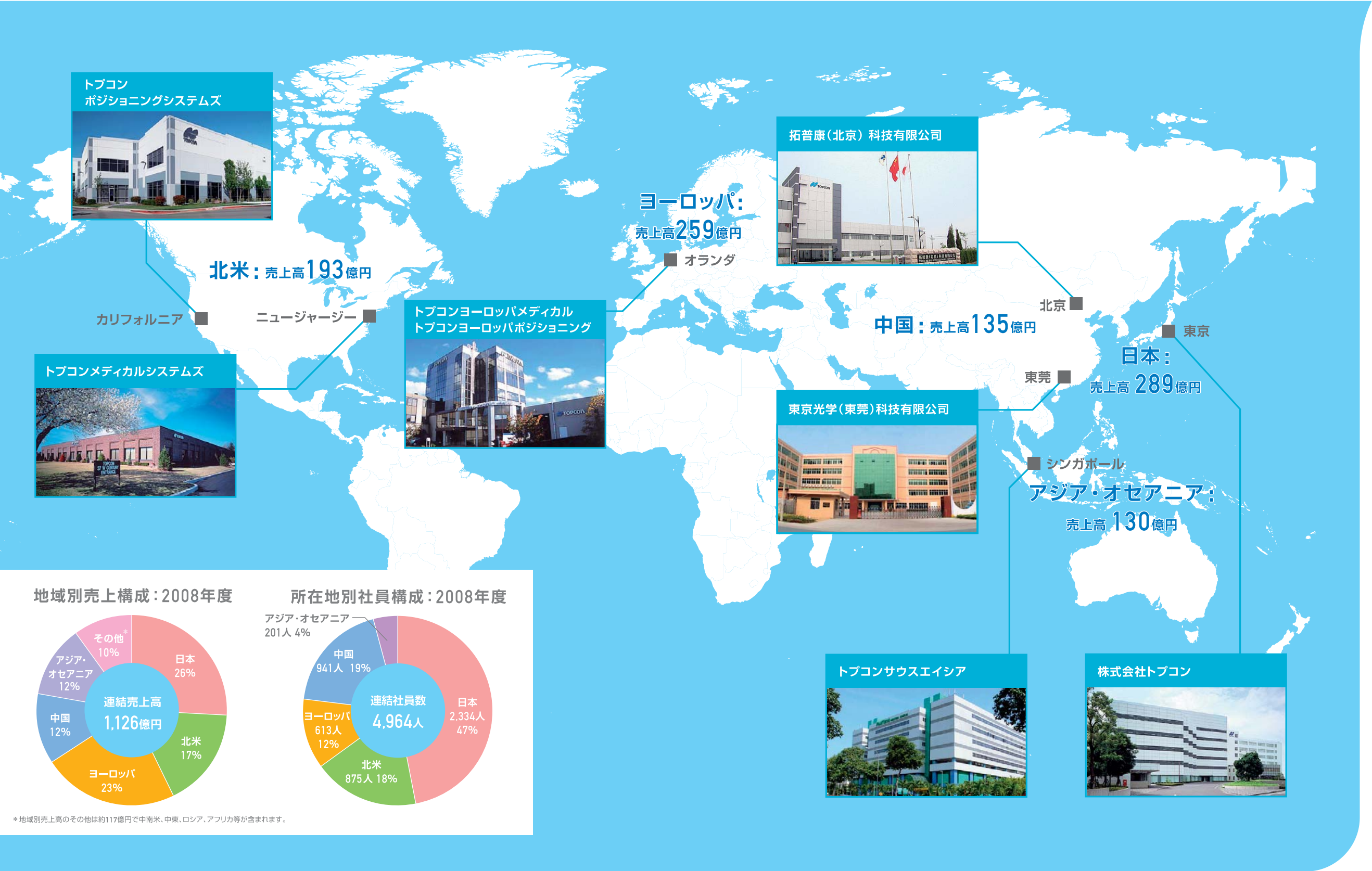
減価償却費 (のれん償却額含)



会計年度	'01/3	'02/3	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高(百万円)	67,569	69,526	67,406	71,480	96,631	102,799	110,490	110,818	112,666
減価償却費(百万円)	2,479	2,893	2,528	2,487	2,619	3,081	3,287	3,746	6,448
売上高減価償却費比率(%)	3.7%	4.2%	3.8%	3.5%	2.7%	3.0%	3.0%	3.4%	5.7%
研究開発費(百万円)	3,937	4,273	5,173	5,356	5,956	7,713	9,424	10,178	11,589
売上高研究開発費比率(%)	5.8%	6.1%	7.7%	7.5%	6.2%	7.5%	8.5%	9.2%	10.3%

研究開発費





Positioning Business

〔測量システム〕

自動追尾パルストータルステーション：
GPT-9001A/9003A/9003AF/9005A/9005AF
自動視準パルストータルステーション：
GPT-9003AC/9003ACF/9005AC/9005ACF
デジタルセオドライト：DT-212/213/214
オートレベル：AT-G1/G2/G3/M3/G5/G6
電子レベル：DL-103/103R/103A
データコレクタ：FC-200,FC-2000
(アプリケーションソフトウェア)
FC-200 用アプリケーション：基本観測、監督さん.V、Pocket-3D、
横断観測、GNSS 統合観測、スタティック観測、RTK 移動局観測
FC-2000 用アプリケーション：基本観測 CE、監督さん.V、
GNSS 統合観測 CE、RTK 移動局観測 CE、スタティック観測 CE
GPT-7000i 用アプリケーション：
測量基本 CE、土木基本 CE、Top SURV、フィールド標定
GPT-9000AC 用アプリケーション：
測量基本 CE、土木基本 CE、Field Scan
GPT-9000A 用アプリケーション：測量基本 CE、土木
基本 CE、Field Scan

〔GNSS 測量システム〕

GNSS 受信機：GRS-1GG/GDN/GGDN、GR-3GDN/
GGDN/GD/GGD、GR-2100NGDN/GGDN、
GR-2100CB/CR、GR-2100GD/GGD/GDM/GGDM、
GB-1000G/GD/GGD、GB-500GD、LEGACY-E+
D-GPS 受信機：GMS-2 Pro、GMS-2
GNSS 統合データ処理ソフト：GNSS-Pro



コントローラー—体型GNSS受信機
GRS-1

〔レーザー応用機器〕

ローテティングレーザー：RL-100 1S/2S、RL-H3A/H3B、
RL-H3CL、RT-5SW、RL-VH4G2/4DR
レーザーセオドライト：DT-110L3/LF 3mW
パイプレーザー：TP-L4GV/L4G/L4BG/L4AV/L4A/L4B
セバレートパイプレーザー：TP-L3S

〔土木施工システム〕

MILLIMETER GPS：ゾーンレーザートランスミッター
PZL-1.RTK 用ポジショニングゾーンセンサー PZS-1、
マシンコントロール用ポジショニングセンサー PZS-MC

マシンコントロール用トータルステーション：
GPT-9003A MC Edition
マシンコントロール用レベルセンサー：
LS-B110/110W、LS-B100、LS-B10/B10W
3D-MC GNSS グレーダー / ドーザー：SYSTEM-Five 3D
3D-MC TS グレーダー / ドーザー：LPS-900
3D-MC GNSS ショベル：3DXi
3D-MC mmGPS フィニッシャー：3D-MC mmGPS Paver
3D-MC TS フィニッシャー：LPS-900
2D-MC レーザードーザー：DZ-1
2D-MC フィニッシャー：TA-1



マシンコントロールボックス
9168 マシンコントロール用GNSS
GNSS BOX

〔計測システム〕

3次元レーザースキャナー：GLS-1000
レーザースキャナー点群処理ソフト：Scan Master
イメージングステーション：IS
画像トータルステーション：
GPT-7001i/7003i/7003iF/7005i/7005iF
デジタルイメージ統合処理ソフト：
Image Master for IS/Pro/Standard/Lite
反射鏡式実体鏡 3 型



イメージングステーション
IS



3Dレーザースキャナー
GLS-1000

Eye Care Business

〔眼科システム〕

眼科診療支援システム：IMAGEnet Multi Viewer Station
眼科電子カルテシステム：IMAGEnet eカルテ V2

〔眼科検査装置〕

ビノビジョンアナライザー：BV-1000
ウェーブフロントアナライザー：KR-1W
オートレフラクトメータ：RM-8900
オートケラトレフラクトメータ：
KR-8900/8100PA/8100P/8100A
ノンコンタクトタイプトノメータ：
CT-90A/80
スペキュラーマイクロスコープ：SP-3000P



ウェーブフロントアナライザー
KR-1W

〔眼科診断装置〕

3次元眼底像撮影装置：3D OCT シリーズ
眼底カメラ：
TRC-NW7SF MARK II/TRC-50DX
無散瞳眼底カメラ：
TRC-NW 300/NW8
スリットランプ：
SL-D2/D4/D7/D8Z



3次元眼底像撮影装置
3D OCTシリーズ

〔眼科治療装置〕

手術用顕微鏡：OMS-800 (OFFISS/Pro/Standard)/
850(OFFISS/Pro) /710/90
レーザ光凝固装置：LC-300G/SL-10LG

〔チェア&スタンド〕

電動光学台：AIT-500/16
〔眼鏡店検査装置〕
ミラクルチャート：MC-3
パネルチャート：PC-50
オートチャートプロジェクター：ACP-8
スクリーノスコプ：SS-3
コンプビジョン：CV-5000
1ダイヤルコントローラー：KB-50
1ダイヤルコントローラー KB-50
ビジョンテスター：VT-SE/10
コンパクトシステム：CS-70
コミュニケーションシステム：CS-880/100
検眼レンズセット：TLS-3
PD メーター：PD-5
〔眼鏡店測定装置〕
コンピュータレンズメータ：CL-200
レンズメータ：LM-8/8C
レンズチェッカー：EZ-200Advance
〔眼鏡店加工装置〕
パターンレスエッジャー：ALE-5100HC/Pro/SG/C
フレームリーダー：FR-5000
オートブロッカー：DS-5000/7000
フィルターシステム：FS-100D/1
エッジャー用脱臭装置：DU-2 軸出器：PS-9



コンプビジョン CV-5000/
1ダイヤルコントローラー KB-50

Finetech Business

〔半導体関連装置〕

チップ外観検査装置：
Vi-4300/4200/2200/1200 シリーズ
イントレイチップ外観検査装置：
Vi-3200
ウェーハ表面検査装置：
WM-6000/10/7S
Die-to-Database 電子ビーム検査装置：
NGR2100



チップ外観検査装置
Vi-4303FX

〔FPD・太陽電池関連装置〕

大型プロキシミティ露光装置：TME-950P/750P/550P
小型高精度 R&D 露光装置：TME-400R/150R

輝度計：BM-9 色彩輝度計：BM-7A/5AS
分光色彩計：SC-777 分光放射計：SR-3AR
近赤外分光放射計：SR-NIR
超低輝度分光放射計：SR-UL2/UL1R
輝度色度ユニフォミティ測定装置：UA-1000A
分光放射計：WR-100

〔光学製品〕

プロジェクター用光学エンジン、複写機用光学ユニット、
DVD・CD 用光学部品、精密光学部品
〔コーティング〕
赤外フィルター、各種光学薄膜製品
新機能性コート、塗料

1932年、(株)服部時計店精工舎(現セイコーホールディングス(株))の測量機部門を母体として設立。

1989年、「東京光学機械(株)」から「(株)トプコン」に社名を変更。

測量機器、眼科向け医用機器を中心とした総合精密光学メーカーとして今日に至る。

1932年～

■東京光学機械(株)設立

1932年9月陸軍省の要請で、服部時計店精工舎の測量機部門を主体に勝間光学機械製作所のレンズ工場施設を買収して設立。当初は、測量機・双眼鏡・カメラならびに光学兵器を主要製品として事業を開始したが、時代の要請により急速に経営規模が拡大、数年にして日本の代表的な光学メーカーに成長し、あらゆる種類の精密な光学兵器を生産するに至り、遅れていた日本の光学機械製造技術を世界的水準に高める推進力の一翼を担った。

■工場再開

終戦により工場を一時閉鎖の後、1945年11月民需品転換について許可を受け工場を再開。双眼鏡の生産に主力をおき、その大部分を米国に輸出して日本の双眼鏡が米国市場を独占する下地を作った。さらに測量機の生産を行って戦後の国土の復興と開発に貢献。

■山形機械工業(株)設立

1946年12月終戦とともに閉鎖していた工場の機械設備等を山形に集結し、戦後第一の地方工場として山形機械工業(株)(現(株)トプコン山形)を設立。

■東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)の傘下に

1960年3月東京芝浦電気(株)の関連会社として、電気機器、電気計測器類の製造を開始するとともに光と電気の調和を目指す新分野に進出。その成果の一つとしてTTL開放測光方式の一眼レフカメラを世界で初めて実用化。

1969年～

■製販拠点強化

生産性の向上、販売の拡大を図るべく、まず1969年福島県に生産拠点として東京光学精機(株)(現(株)オプトネクス)を設け、ついで1970年修理部門の強化のため(株)トプコンサービスを、さらに国内外の販売強化のため1970年オランダにTopcon Europe N.V.(現Topcon Europe B.V.)、アメリカにTopcon Instrument Corporation of America(現Topcon Medical Systems, Inc.)を、1972年国内中部地区に測量機の販売会社として中部トプコン測機(株)(現(株)トプコン販売)をそれぞれ設立し将来に向かっての施策を講じた。さらにメガネレンズ事業進出のため、専門の製造会社として福島県に(株)三友光学(現(株)オプトネクス)を設立。

■経営基盤強化

1983年11月に外貨建転換社債の発行、1985年3月には当社としては過去最大規模の380万株の時価発行増資を行って資本の充実を図り、経営基盤の強化に努めた。

■企業体質強化

1986年4月香港に海外初の現地生産拠点としてTopcon Optical (H.K.) Ltd.を設立、為替の変動に耐えうる企業体質づくりを目指した。また、同年9月に念願の証券一部市場への指定替を果たした。

■積極的な資金調達

1987年に米貨建ワラント債を発行、1989年には国内初の無担保転換社債を発行し自己資本比率の向上に努め、新製品の開発、販売の拡充・強化などを活発に行った。

また、1975年に関東地区における測量機販売促進のためトプコン測機(株)(現(株)トプコン販売)を、1976年には医科器械関係の当社直下の販売会社として(株)トプコンメディカルジャパンを設立。

■企業体質一変

1981年レフクトメータRM-100と光波距離計DM-C2の爆発的な売上による増収・増益、さらに35mmカメラ事業からの撤退などが一斉に効果を現わし企業体質を一変。1979年～1982年の間に3度の公募増資、4度の無償交付を行い、会社基盤を確立。また、地方営業所の増開設、シンガポールに販売現法Topcon Singapore Pte. Ltd.を設立し販売体制の拡大強化を図る一方、新規設備を投入して生産体制の整備を行うなど全社を挙げて経営の充実に努めた。

■米国に製造拠点

1988年医用機器事業の業容拡大のためチェア・スタンド等の製造会社Topcon Manufacturing Corporation of America(現Topcon Medical Systems, Inc.)を設立。

■会社名を株式会社トプコンに変更

1989年社名変更を行い企業風土の改革と企業力の抜本的強化を進める一方、ハイテク化、国際化、高度情報化に対応した経営の展開を図るとともに、顧客に役立つ新製品を開発・販売して業容の拡大に努めた。

■電子ビーム事業に参入

1991年当社固有の技術との融合による新規事業への参入を企図し電子ビーム事業を開始。

1983年～

■MC事業へ参入

1994年3月マシンコントロール領域への参入を企図して、Topcon Laser Systems, Inc.(現Topcon Positioning Systems, Inc.)を設立し米国のレーザー機器メーカーを買収、オールラウンド測量機器メーカーとしての地盤を固めた。

■ISO9001認証取得

1994年欧州(EU)市場で取引を進めるため、測量機器部門が国際規格であるISO 9000シリーズ(国際標準化機構)を認証取得。翌年に医用機器部門が取得したことにより国内外の関係子会社にも取得計画が波及。

■事業部体制・国内販売網再編

1997年4月事業部の統廃合、国内販売網の再構築を行い、市場ニーズを捉えた顧客サービスの提供と製品開発へのフィードバックの強化を図った。

■ISO14001認証取得

1997年9月環境の国際規格であるISO 14001を取得。全社的な環境保全活動に務めた。

■GPS関連事業参入

2000年7月アメリカのJavad Positioning Systems, Inc.を買収し、精密GPS受信機、関連システム製品を開発。従来の測量機器との融合を図り、トータルポジショニング事業への展開の足がかりとした。

■国際競争力強化

2001年7月海外営業強化策として米国にTopcon Positioning Systems, Inc.とTopcon Medical Systems, Inc.を設立し、その持株会社として新たにTopcon America Corporationを設立、米国における子会社の再編を図った。また同年11月には海外における生産力強化策としてDVD光ピックアップ用光学部品の量産に対応するためトプコン香港の中国工場(現Topcon Optical (Dongguan) Technology Ltd.)を設立。

■環境負荷低減への取組み

2001年12月に「ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)」達成、環境調和型製品の開発、グリーン調達の実施など環境保全活動を積極的・継続的に取り組む。

1994年～

2004年～

■中国での生産力強化

2004年2月中国における測量機器事業のさらなる加速を図るため測量機器製造会社、拓普康(北京)科技有限公司を設立。

■欧州販売網強化

2005年7月欧州における販売子会社を再編し、測量機器、医用機器それぞれの統括会社となるTopcon Europe Positioning B.V.、Topcon Europe Medical B.V.を設立。

■HOYA(株)とのアライアンス

2005年7月国内における眼鏡機器の拡販、新たな市場の創出を目指しHOYA(株)ビジョンケアカンパニーの日本国内における眼鏡器械部門の一部を譲り受ける。

■株主拡大策

2005年9月に1単元の株式数を1,000株から100株に、また2006年4月には1:2の株式分割を実施。

■新規事業への参入

2006年8月にANKA Systems, Inc.を買収し米国における眼科ネットワークビジネスに参入。また10月にはKEE Technologies Pty Ltd.を買収し精密農業分野に参入するなど新たな事業基盤とすべく新規事業への参入を図った。

■事業再編

2007年4月グローバルな事業展開に対応するためポジショニングビジネス、アイケアビジネス、ファインテックビジネスの3つの事業体制へ再編。

■移動体制御事業へ参入

2007年5月ポジショニングビジネスのグローバルベースでの拡大・発展を企図し、アメリカのJavad Navigation Systems, Inc.より移動体制御(ナビゲーション、ITS等)の営業権を譲り受ける。

■ソキアとの経営統合

2008年2月、ポジショニングビジネスの国際市場での競争力強化を図るため、株式会社ソキアに対しTOBを実施し、子会社化した。